

本庄市空間放射線量測定結果

下記の測定は、埼玉県と同様の空間放射線専用測定機器を導入し、計測を行いました。
測定値は、計測の時間帯や天候等に影響を受けることがあるため、あくまでも参考の数値となります。
なお、測定値には自然から受ける放射線量が含まれています。

測定日：令和1年5月27日

| 測定箇所 | 時 | 測定値 ($\mu\text{Sv/h}$) | | | 換算値 (mSv/年) ※ | | |
|---------------|-------|--------------------------|-------|-------|--------------------------|-------|-------|
| | | 5cm | 50cm | 100cm | 5cm | 50cm | 100cm |
| 1. 旭小学校 | 15:55 | 0.108 | 0.097 | 0.089 | 0.568 | 0.510 | 0.468 |
| 2. 仁手小学校 | 16:22 | 0.080 | 0.070 | 0.080 | 0.420 | 0.368 | 0.420 |
| 3. 市民体育館 | 15:35 | 0.064 | 0.058 | 0.063 | 0.336 | 0.305 | 0.331 |
| 4. 消防本部 | 15:15 | 0.064 | 0.064 | 0.055 | 0.336 | 0.336 | 0.289 |
| 5. 本庄市保健センター | 14:00 | 0.083 | 0.082 | 0.061 | 0.436 | 0.431 | 0.321 |
| 6. 共和小学校 | 14:30 | 0.086 | 0.067 | 0.074 | 0.452 | 0.352 | 0.389 |
| 7. 児玉文化会館セルディ | 14:50 | 0.085 | 0.086 | 0.069 | 0.447 | 0.452 | 0.363 |

※換算値とは測定値を年間の放射線量に直したものです。結果は mSv (ミリシーベルト) = $1000\mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト)で表します。屋内(木造)についての活動は、屋外の0.4と換算し、屋外を8時間、屋内を16時間の計24時間で換算しています。上記により、換算値 = (測定値 × 8時間 × 365日 ÷ 1000) + (測定値 × 0.4 × 16時間 × 365日 ÷ 1000)で算出しています。

■測定場所：市内各7ヶ所

■測定方法：地表より5cm、50cm、100cmのそれぞれの高さで放射線量を測定する。

時定数は自動的に設定される。

指示値が安定したのち、表示されたデジタル数値を約10秒間隔で読み取る。

それぞれの高さで5回読み取った数値を平均化し測定値として算出する。

■測定器具：携帯型放射線測定器

(富士電機株式会社製 シンチレーションサーベイメータNHC7)

■参考情報：人間が年間「自然界から受ける放射線量」は、1人当たり世界平均約2.4mSvとされています。

なお、平常時に「自然界から受ける放射線量」と「医療により受ける放射線量」を除いた場合の

放射線量は1年間で約1mSv以下が望ましいとされています。(2007年、国際放射線防護委員会調べ)

■参考リンク：[原子力規制委員会](#) 「放射能を正しく理解するために」(外部リンク)

[放射線医学総合研究所](#) 「放射能被ばくの早見図」(外部リンク)